

報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 11 月 20 日		19 時 00 分 ～ 20 時 30 分	
自治協議会名	柘植地域まちづくり協議会		開 催 場 所	柘植地区市民センター
出席議員	山口 康子、北森 徹、山下 典子、西田 方針			
	班 長	山口 康子	記録・報告者	山口 康子
参加人数	15 名			

【主な意見・提言等】

＜旧大和街道に於ける都市計画、活性化課題等について＞

- ・ 2～3年前の3町合同区長会で忍者回廊の説明があったが、柘植地区に関するには説明がなかったため、大和街道沿いの柘植も同時に進めてほしいと要望した。その後2年経っても説明がなく進捗を知りたい。歴史上の人物が通過した大和街道のまちづくりを進めてほしい。

→歴史的風致維持向上計画の第2期を策定中で、中間案が議会に報告される。現行の1期目は上野と島ヶ原のみだが、柘植には壬申の乱ゆかりの積殖の山口や、義経伝承の風の森神社跡、万寿寺の重要文化財など歴史遺産が豊富にある。これらをもっと地元からPRしてはいかがでしょうか。

- ・ 伊賀市は歴史や食、観光資源に恵まれている一方、上野の中心街はにぎわい不足。万川集海の利用料やホテル料金が高く地元住民がリピートしにくい。インバウンド向けの施設としての運用も不十分に感じる。
- ・ SAKAKURABASE に土産店があるということがわかりにくい。もっとわかりやすく伝える工夫が必要ではないか。
- ・ 柘植地域は人口 3,000 人で鉄道も通っており、工夫次第でさらに良くなる地域と思う。行政はもっと柘植地域に目を向けてほしい。

＜柘植駐在所のあり方について＞

- ・ 柘植駐在所は、月に4回交番勤務の警察官が巡回する体制となっている。市内10駐在所で唯一の巡回体制であり、以前は常駐していたことを考慮し、地域の声を集めて伊賀署長へ要望したいと考えている。
- ・ 現在でも電話をすれば、丁寧に対応はしてもらえるし、敬老会のイベントにも参加してくれている。
- ・ 以前のように警察官が駐在し、毎日のパトロールによって細かな配慮で地域を守ってくれていた体制や、事故件数の分析結果の提供を期待している。

＜空き家対策について＞

※自治協より区ごとの空き家状況報告が全員に配布された

- ・ 抵当物件の建物が長年放置され、破損や草木の繁茂が進んでいる。隣家に伸びた枝を自己負担で切るべきか疑問である。市は固定資産税で所有者を把握しているはずなのに何の対応もしてくれない。
- ・ 持ち主がなくなり、相続人を5代さかのぼっても持ち主の特定ができない場合、その土地は最終的に誰のものになるのか。そこに草が生えて今は地域の人が出合作業で刈ってくれている。
- ・ 時々家主が来る「管理された空き家」が56.9%あり、泥棒に狙われやすい。問題である。区長と家主さんとのつながりが重要です。
- ・ 区長さんが家主さんと連絡を取り合って、草刈りなどの対応をしてもらっている。
- ・ 空き家バンクに登録しても、三重県を超えて全国に広く公開しないと売れないのではないか。空き家は不動産業者も情報を把握するのか。
- ・ 若い人が出ていき空き家になる。市として積極的に駅前開発、企業誘致をしてほしい。

<その他懸案課題>

- ・ JR 関西線（伊賀上野駅、柘植駅）のバリアフリー化の要望（エレベーターがない）
- ・ 柘植歴史資料館は耐震の関係で使用不可になり、太鼓など全部出して移動したのに、建物はずっとそのまま。いつ解体するのか。
- ・ 柘植中学校の前の道路わきの溝の草取り。従来は住民で草取りを行っていたが溝の所有は国になるのか？国であれば誰が草取りを行ってくれるのか。

伊賀市議会議長 様

令和7年11月21日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会4班

班長 山口 康子